

高松市立山田中学校 道徳便り 2024



年明けから早1ヶ月が過ぎました。暦の上では春を迎え、日の長さも少しずつ長くなってきていますが、まだまだ寒い日が続きそうです。子供たちには厳しい寒さに負けず、何事にも前向きに取り組んでほしいと思います。

さて、1月の道徳の週のテーマは「赤（自分を見つめる）」でした。新年を迎え、気持ち新たに目標を立て、それに向かって頑張っている人も多いと思います。そこで、これまでの自分を振り返り、より前に進んでほしいと思い、有名な曲の歌詞から現在の自分と未来の自分について考え、一年後の自分に宛てて手紙を書きました。

1年生 「栄光の架橋」



入学してからの自分を振り返り、ゆずさんの代表曲「栄光の架橋」の歌詞を通して、困難なことを乗り越えるためにどのようなことが必要なのかを考えました。また、最後までやり遂げるためにどういうことが大事なのかを考えました。

人は、どうして困難や失敗を乗り越えることができるのだろうか？

- 一人じゃ乗り越えられなかったことも、友達や家族の応援があって今につながっていることを改めて実感しました。夢に向かって、転んでしまっても立ち上がれるように努力していきたいです。
- 何にでも壁がある。それを乗り越えて、楽しみや喜びを味わえることを知りました。この授業をして何でもすぐにあきらめないことを決めました。
- どんな困難・苦しさがあってもあきらめてはいけません。必ず、進めば道は開けると信じて一生懸命に頑張る。
- 「栄光の架橋」の歌詞は、陸上をがんばっている自分と重なる部分があってすごく心に響きました。これからはなりたい自分に少しでも近づけるように努力していきたいです。

切り取り線

ご意見欄

お名前

高松市立山田中学校道徳便り 2月 (2024)



2年生 「Progress」



スガシカオさんの代表曲「Progress」を通して、理想の自分と比較して自分を嫌いになったり、挫折したりしながらも、前進するためには何が必要なのかを考え、困難を乗り越え、より良く生きることについて自分を振り返りました。

この授業を通して考えたことは？

- 歌詞の「あと一歩だけ前に進もう」というのを読んで、今はまだ大会に勝てていないので、この歌詞をばねにして優勝を目指して一歩ずつ進もうと思います。
- 私は、以前まではずっと前だけを向いて生きていました。しかし、過去を振り返ることも、もう一歩先に進めることがこの授業を通してわかりました。
- みんな受験のスタートは一緒だから、今回書いた自分への手紙を来年読んで、後悔のないようにしていきたい。
- この授業を受けて、これからは不安になることがあるかもしれないけれど、この歌を思い出してまた前を向いて頑張ろうと思います。

3年生 「手紙～拝啓 十五の君へ～」



アンジェラ・アキさんの代表曲「手紙～拝啓 十五の君へ～」から、歌詞の「Keep on believing」には、どのような思いが込められているのか、そして、自分の人生において信じて進むべきものは何か、卒業を見据えてこれからどのような気持ちで過ごしていきたいかについて考えました。

「keep on believing」とはどういうことなのだろうか？

- 今の選択は間違いじゃない。自分のやりたいことをやる気持ちは大切。
- あきらめずに自分自身のことを、信じ続けろということ。
- 自分のやりたいことは自信を持って、つき通す。
- 自分で決めたことに不安な気持ちを持たず、信じ続ける。
- 自分が決めた道は、きっと大丈夫だと信じること。
- 未来の自分の姿は想像できないけど、信じ続けることで、未来はどうにかなる。
- 自分の信念をつらぬき続ける。

今の自分を振り返り、未来の自分に宛てて手紙を書きました。1、2年生は来年の1月頃、道徳科の授業で開封します。3年生は、郵送する予定です。1年後の自分はどのように成長しているのか、今から楽しみです。